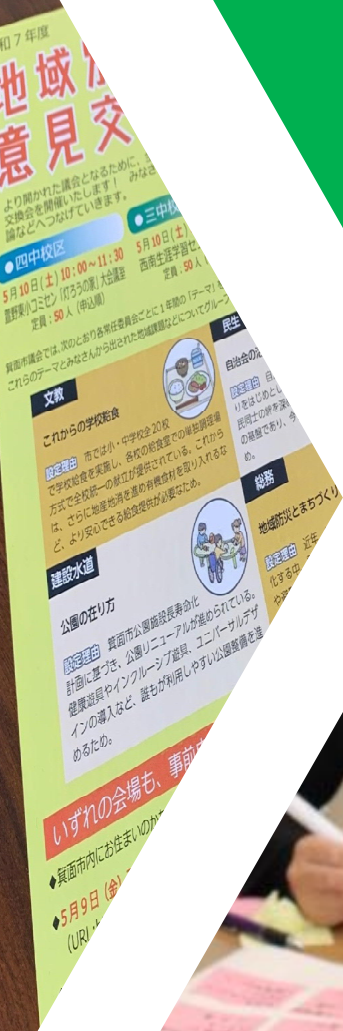


令和8年度 開催結果概要



箕面市議会 地域別意見交換会

市民のみなさまの声をさらに市政に反映するため、全議員が3班に分かれ、グループディスカッション形式で意見交換会を開催しました。
多くの貴重なご意見をいただくことができました。本当にありがとうございました。

東小学校区

【開催日時】

5月15日（金）
18:00～19:30

【開催場所】

東小コミセン

【参加人数】

12名

南小学校区

【開催日時】

5月16日（土）
10:00～11:30

【開催場所】

南小コミセン

【参加人数】

14名

萱野小学校区

【開催日時】

5月16日（土）
14:00～15:30

【開催場所】

みのお市民活動センター

【参加人数】

12名

参加者から寄せられた 意見の一部をご紹介します。

総務常任委員会

テーマ：戦略的シティプロモーションの構築

古民家や空き家のリノベーションなどを行って、街の再生をすることは、魅力アップにつながるのではないかと。

市民は望んでいないので、箕面市の人口をこれ以上増やす必要はないんじゃないかと。

人口を増やすことだけを目的にするのではなく、インフラ整備とのバランスを取りながら、住みやすいまちづくりを進めてほしいと。

SNSによるプロモーションをもっとがんばってほしいと。

市外の人ではなく、市内に住む人が魅力を感じる取り組みが必要と。例えば高齢者の居場所など。

市全体ではなく、新興住宅地と古くからの住宅地を分けて考えることと。

自治会活動がしやすい環境づくりや、暗い場所への街灯設置など、地域の安心安全につながる取り組みを進めてほしいと。

参加者から寄せられた 意見の一部をご紹介します。

文教常任委員会

テーマ：部活動の地域展開

部活の地域展開については不安しかない。部活での学びや、部活が居場所になっていた子どもはどうなるのか心配。

大人が思っているよりも子どもの選択肢は少ない。「こんな選択肢もあるよ」と提案してあげたりと、子どもをサポートする仕組みが必要。

地域展開した後、子ども達の管理監督の責任の所在をどうするか、チェック体制を明確にする必要がある。

部活動の授業の一環としての機能は今後どうしていくのか。

部活動の地域展開は、教員の負担が軽減されて好ましいが、部活動がなくなった後、子ども達の居場所をどう確保するのか、移動の難しさ、経済格差などの懸念がある。

地域クラブはこれから「地域全体で子どもを守る」、「地域と学校がつながる」という仕組みづくりが必要ではないか。

子どもはこの『クラブをしたい』という強い動機より、気楽に入って楽しめる場所への興味が強い。それが将来への楽しみや生き方につながることもある。そういう場となるのか。

参加者から寄せられた 意見の一部をご紹介します。

民生常任委員会

テーマ：健康長寿とフレイル予防の推進

高齢者の集いの場や、箕面シニア塾などの取り組みをもっと周知してほしい。また、開催曜日が固定されていると参加しにくいので、曜日を分散してほしい。

シルバー人材ではなくて、認知症でも働くことができる場があれば症状の安定などにつながると思う。

オーラルフレイルが重要であるのもっと大切にしてほしい。

市民のおでかけスポットMAPなどの出掛けたくなるまちづくりがあっても良いのでは。

加齢による難聴者が増えているが、補聴器の価格が高くて買えない人もいる。購入の際の補助金制度などの創設をお願いしたい。

高齢になってから施設ではなく自宅で過ごしたいという人も一定数いる。施設を増やすよりも自宅で過ごすための支援を充実させることを優先させるべき。

参加者から寄せられた 意見の一部をご紹介します。

建設水道常任委員会

テーマ：農とみどりのまちづくり

箕川のみどり（梅林など）を都市景観に位置づけてほしい。

外国人観光客は勝尾寺までの道のりを歩いてみどりを楽しんでいる。お金をかけなくても既にある自然の資源を活かす方法も考えてみては。

自然としてのみどりと、景観としてのみどりは共存しづらいのではないか。

箕面市内は段差や坂道が多い。みどりあふれるまちとあるが、山なみが維持できていれば十分だと思う。乱開発されないように規制をかけてほしい。

山麓だけではなく、まちなかのみどりや川をもっと活かしていくためにもみどりの保全、環境保全をしたほうがいい。

田村橋、紅葉橋などのクリーンアップ作戦を学校や地域なども関わって実施する授業があればいいと思う。

戸建て住宅を建築する際、景観条例で植樹をしないといけないはずだが、守られていない。みどりあふれる街づくりをするためにはルールを厳しくするべき。

参加者から寄せられた 意見の一部をご紹介します。

委員会テーマ外のご意見

水道自治を簡単に手放すことについて疑問を感じる。水の問題は大きな視点で考えて統合に慎重になるべきでは。お金では得られないものもある。

もっと人口動態を分析してほしい。

今後の高齢化、税収減に備えた議論をもっとしないといけない

データセンタについて市民への情報提供が不足している。市民が納得できる説明を行うべき。

地域（自治会含む）の中で、世代を超えた納得のいくルールづくりが必要だが、偏りが出る場合があり、解決が難しい。

自治会について、旧住民と新住民とで相入れないものがある。

自治会の防災対策のリスト作成について個人情報保護法との壁がある、スムーズに進まない。市のバックアップが必要。

各開催地区班長の所感

南小学校区

幅広い年齢層ではあったが、ややご高齢の方が多く参加されているように思いました。小学校給食の課題など、保護者目線でのご意見があったので、議会としても取り組むべき問題だと認識しました。全体的は、本市のビジョンや方向性を問う声が多かったように感じました。



萱野小学校区

例年同様に参加者数が少なく、今回は年齢層にもばらつきが見られました。今後は10代・20代の若年層の参加促進が課題であると感じました。また、参加者のご意見に丁寧に対応する重要性和、多くの意見を聞く必要性との両立には時間配分の難しさを感じました。今後は、参加しやすい開催方法についてアンケートを行うことも有効と考えます。



参加者数は12人だったが、各班活発な意見交換ができた。部活について、保護者、子どもたちの立場と教師の立場があり、両方の意見を聞く必要がある。一方、今後地域との繋がりができることへの期待もあった。市は市民の声をもっと聞いてほしいという意見も複数あり、今後活かしていきたい。

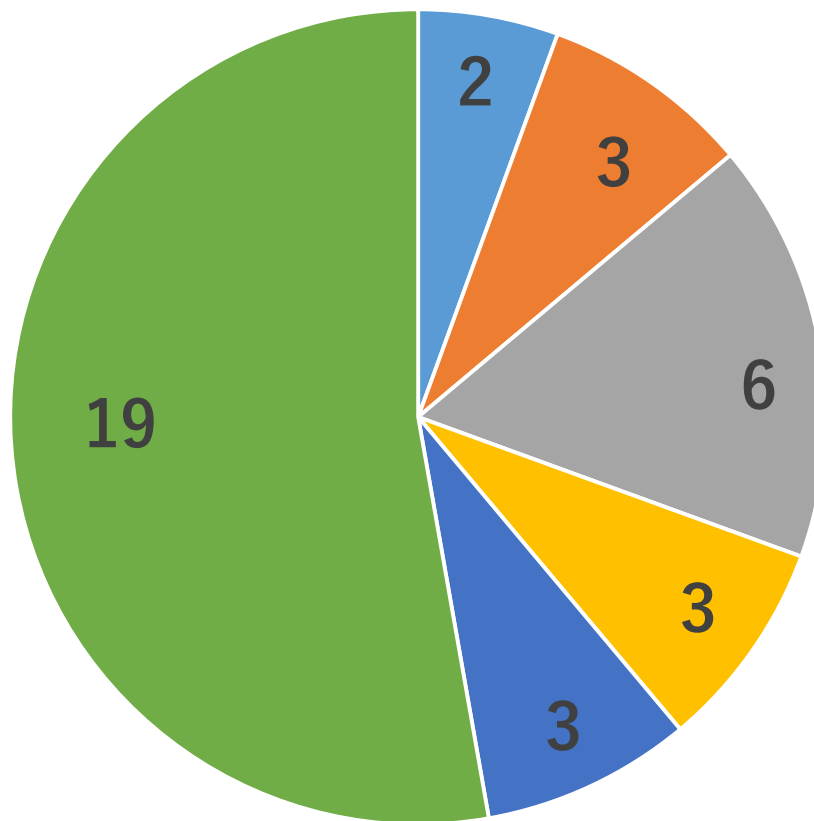
東小学校区



参加者対象アンケート結果

参加者数38名中、36名がアンケートに回答（回答率94.7%）

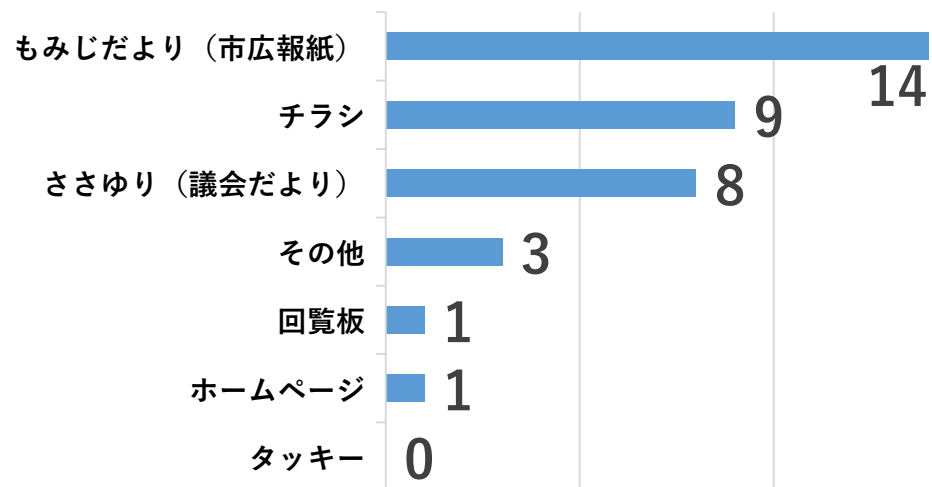
参加者年齢構成



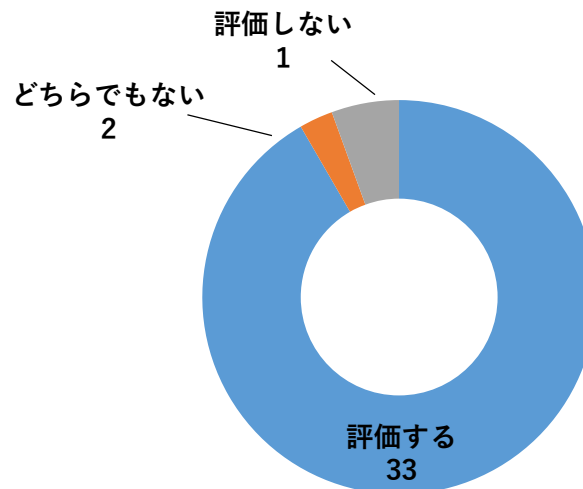
■ 20代 ■ 30代 ■ 40代 ■ 50代 ■ 60代 ■ 70代以上

参加者対象アンケート結果

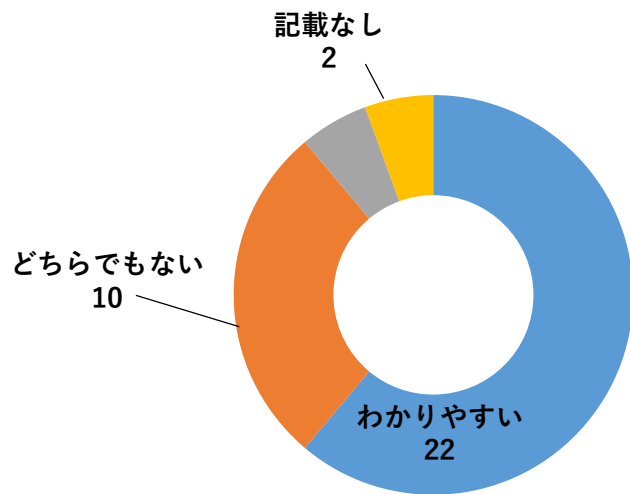
Q1：今回の意見交換会は何でお知りになりましたか。
(複数回答可能)



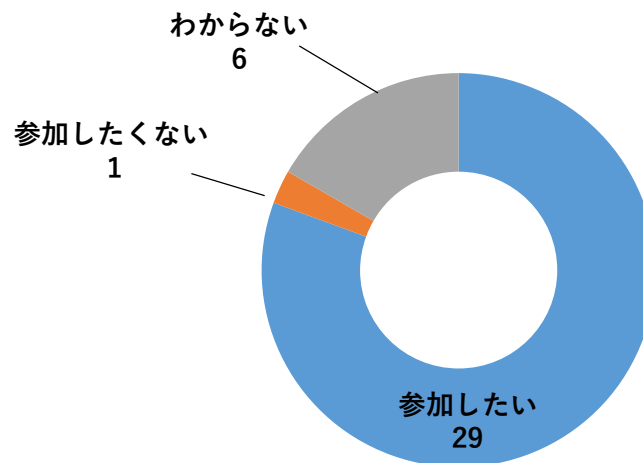
Q2：意見交換会の取り組みについて



Q3：説明・内容について



Q4：次回も参加したいと思いますか



参加者対象アンケート結果

Q5：お気づきになった点、また発言できなかったご意見（自由記述欄）

※いただいたご意見の一部を掲載しております。

- ・ 文教のテーマが去年は「給食」で今年は「部活動」だが、参加者の年齢的に意見が集まりにくい。折角の意見を聞ける機会なのにもったいない。
- ・ 開催場所も自宅からほど良い距離で適度な運動もでき、フレイル予防にもよいと感じた。
- ・ 考え方を事前にまとめておきたいので、事前に資料配布をしてほしい。
- ・ 話が盛り上がって面白かった。こういう市民の意見を聞く場をこれからももってほしい。
- ・ 周囲の方にもこんな会がある話をしますが、認知や把握がされていないように感じました。
- ・ 市の中で暮らす人たちの意見がしっかり聞けてよかったです。自分ができることも考えるきっかけになりました。
- ・ 子育て世帯や働き世帯もたくさん参加できるよう、開催頻度を増やしてもっと広報してほしい。
- ・ 若者の参加率を上げる工夫をしてほしい
- ・ テーマを絞ってほしい。